

中 自 協 通 信

第 13 号 発行日:令和 3 年 10 月 20 日 発行者:中部地区自治協議会

◎ 令和3年度の市政懇談会についてお知らせします。

令和3年11月22日(月)に市政懇談会が中部地区コミュニティセンターで開催されます。

未だ新型コロナウイルス感染が収束していないことから、参加者については理事や地域課題により強い関わりのある町内会長などに限定することといたしました。このことについてご理解賜りますようお願いいたします。

また当日の市当局とのやり取りについては、改めてお知らせすることといたします。

なお、今回の地域課題は、次の3項目です。

1 名切地区再整備に関連した環境整備について

主旨:

- ① 中央公園のリニューアルの内容について情報提供を求めるもの。
- ② 歩行者等通行の安全確保の考え方を求めるもの。
- ③ 通称「蛇道」の景観整備について考え方を求めるもの。

2 指定避難所の運営について

主旨: 避難所開設の際、より身近な施設に避難できるような運営面での対応を求めるもの。

3 学校再編について

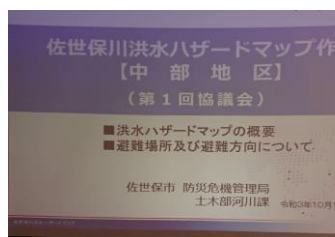
主旨: 山手小と小佐世保小の存続を要望するもの。

◎ 佐世保川洪水ハザードマップ作成協議会が開催されました。

令和3年10月12日(火)に中部地区コミュニティセンターで第1回の協議会が開催されました。

これは、平成27年の水防法改正を受け、想定しうる最大規模の降雨により浸水などが予想される場合に、住民の避難行動をスムーズに行うことを目的とするものです。浸水がどの範囲で起こるのか、どれくらいの時間浸水が続くのか、避難場所はどこなのか、避難する際に留意すべきことは何なのかなど、今年度中にまとめていくこととなります。

下は、浸水想定区域に所在する関係代表者の方々が図面を見ながら留意すべき点などを話し合っているワークショップの様子です。



◎ 佐世保市地域運営研究会について

社会全体の大きな流れの中で住民の必要とするサービスが多様化するにつれ、従来行われてきた公共サービスを維持しながら細分化された新たなニーズを賄うことは、財源面でもマンパワーの面でも限界に来ていることは、皆様ご承知のことと思います。

自助(自分ができるとは自分で)、共助(近くの人たちができる範囲で助け)、公助(自助や共助では救えない人に行政が助け)という言葉が使われるようになったのは、このような時代背景があります。

佐世保市でも多様で複雑な問題や課題に対応することが困難な状況が見られるようになったことから、地域が抱える諸問題を解決し地域の活性化を図るという目的で、平成27年9月から平成30年4月にかけて、中学校区を基本とした27地区に地区自治協議会が設立されました。

以来、それぞれの地区において様々な活動が行われてきましたが、現実には自治協議会が立ち上がって数年しか経っていないこともあり、当初想定したような形には至っておらず、次のような指摘がなされています。

- ① 期待された機能が発揮されていないのではないか。
- ② 地域の行事やイベントをする団体としか思われていないのではないか。
- ③ 解決してほしい問題は、すべて町内会長、自治会長、公民館長に行き、自治協議会には行かないのではないか。
- ④ 地域全体で問題に取り組むという意識が高まっていないのではないか。

など、様々なものがあり、改めて「佐世保市地域運営研究会」という場を設け、行政と地区自治協議会とが論点を整理して一定の方向性を見出し、地域が抱える諸問題の解決に向けて進んでいこうとなりました。

佐世保市地域運営研究会は、27の地区自治協議会を東部ブロック、中央ブロック、北部ブロック及び西部ブロックの4つに分け、計8名のブロック代表者が参加し、大学や総務省自治行政局からの参加を得て議論が始まったところです。

第1回の会議(2021.7.7)の議事録などは、佐世保市ホームページでご覧になれます。



佐世保市ホーム > 市民活動・文化・スポーツ > 市民協働(地域コミュニティ・NPO等)
> 地域コミュニティ(町内会) > 地域コミュニティ > 佐世保市地域運営研究会を立ち上げました



編集後記

暑い時も寒い時も季節を問わずマスク着用の毎日が続き、汗や毛羽立ちにイライラすることも。そんな煩わしさを和らげようと最近では色々な種類のマスクが登場しています。高級そうな布を使ったものやキラキラと飾りが付いたものなど、マスクという不自由さを逆手にとったおしゃれを提案しているのでしょうか。個人的には、顔の下半分が見えないことで想像力を掻き立てられています・・・